



四角い布 Handwoven textiles from Okinawa

展示販売会

会期：2022年8月11日（木） - 8月20日（土）

open. 12:00 - 19:00 *会期中無休

場所：木村硝子店 / SHOP

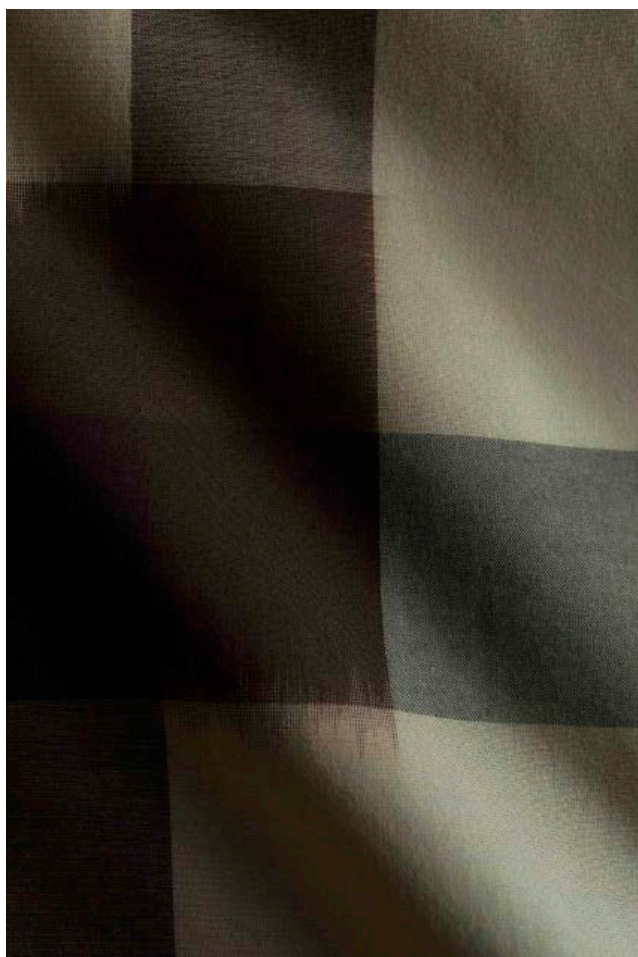
東京都文京区湯島 3-10-4 tel.03-3834-1784

沖縄 首里織の担い手である3人が織るハンカチ。1枚とて同じものはない約100枚の美しい佇まいの布を、老舗硝子店に広げます。

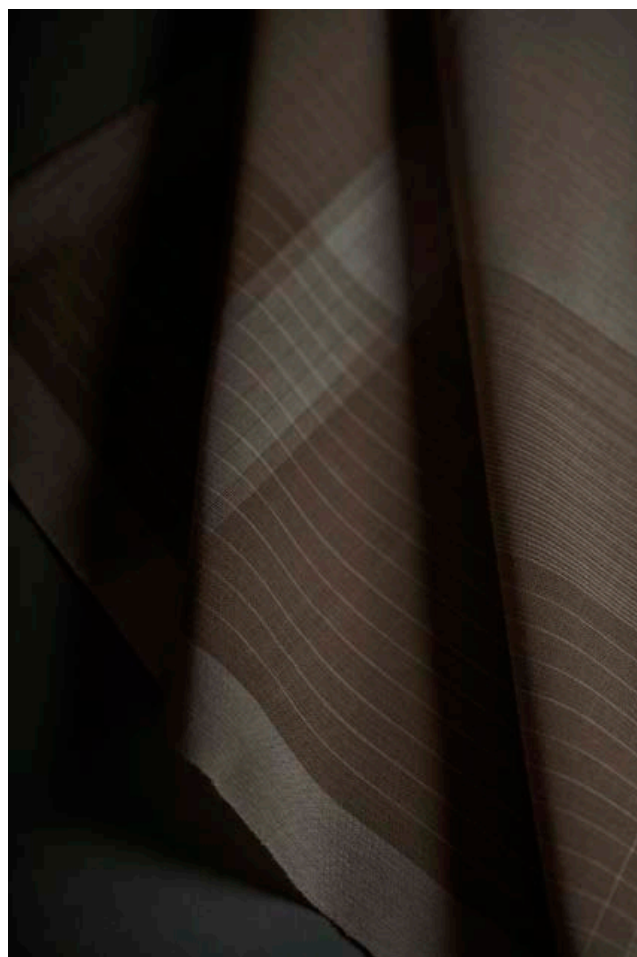
沖縄の歴史ある多種多彩な織りのひとつ「首里織」。かつて琉球王国時代に城下町として栄えた首里で、王府の貴族・士族用の着物や帯が製作され、現在も織り継がれています。その工程の緻密さと、布の美しさに魅了された沖縄出身のデザイナー 真喜志奈美と桶田千夏子（Luft）が、「四角いヌヌ（沖縄方言で、ヌヌ＝布）」というプロジェクトを立ち上げたのは2013年のこと。

着物を身につける機会が少なくなっていく中、どうしたらこの手織りの布の美しさや心地よさを今の生活に取り入れられるだろう、継承されてきた文化をつなげていけるだろう、そう考え、首里織の技と心を受け継ぎ、普段は帯や着尺を織る3名の織り手たちとハンカチの製作を始めました。展示販売する会は今回で7度目、2年の延期を経て、念願だった東京での初の開催となります。

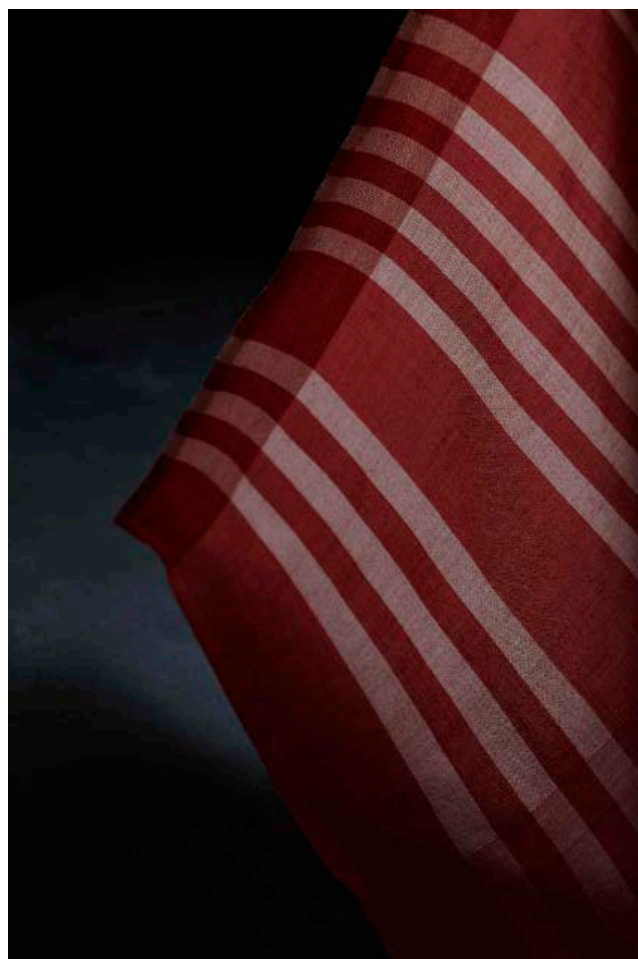
手織りの布に、日々触れられる喜び。緻密であり、それでいて軽やかな存在。一枚のハンカチに込められた織り手の思い、技、美、歴史をぜひ手にとって感じていただけますと幸いです。どうぞご注目ください。



木綿／染料：イタジイ、ソウシジュ
作：上間 ゆかり



木綿／染料：ヨモギ、イタジイ
作：金良 勝代



木綿／染料：フクギ、インドアカネ
作：新垣 斉子

「まだ完全に満足したことはありません。作り手は100%満足のいくものを目指していると思いますが、より良いものを作りたい、その欲求は常にあります。それがないと、モチベーションを維持していくのが難しいと思います。」

上間 ゆかり

「織物は無限です。」

なので、その時に感じたものを作ってあげたいと思います。」

金良 勝代

「沖縄の昔の織物になぜ惹かれるのか、それは、素材そのものの力、そして経年変化がよく見てとれるからだと思います。大切に使われてきた布は、時と共に味わいを増していくはずで。そういう雰囲気のもの、それが私の織りたい布です。」

新垣 斉子

「四角い布」展では約100枚のハンカチを展示・販売予定です

価格：12,000円＋税～

サイズ：約45cm角

素材：綿、自然素材による草木染め



上間 ゆかり (うえま ゆかり)

1963年那覇市生まれ。1992年那覇伝統織物事業協同組合後継者育成講習(初級、中級)終了。1993年首里織組合に加入。1999 - 2005年ギャラリー企画による展示会を開催。2008 - 2010年沖縄県工芸技術支援センター(現・沖縄県工芸振興センター)で織物講師を務める。2011年県民ギャラリーで自主企画による個展開催。2012 - 2014年那覇伝統織物事業協同組合で講師を務め、現在は着尺や帯を中心に自身の制作を行う。



金良 勝代 (きんら かつよ)

1965年那覇市生まれ。1988年那覇伝統織物事業協同組合後継者育成講習終了後、同年より2004年まで宮平織物工房(アトリエ・ルバース)に在籍。そのかわり、1991 - 1993年まで大塚テキスタイル専門学校で学ぶ。2004年退社後、作品制作に入る。2010年首里織物組合に加入。帯、着尺を中心に小物制作にも力を入れている。



新垣 斉子 (しながき ときこ)

1970年沖縄県南風原町生まれ。1999年那覇伝統織物事業協同組合後継者育成事業講習初級終了。2000年首里織物組合に加入。現在は着尺、帯を中心に製作を行っている。主に沖縄の植物染料(琉球藍も進行中)を使用して糸を染め、織りを行っている。

木村硝子店

1910年創業。職人や工場とコラボレーションをしながらファブレスメーカーとして数々のオリジナルデザインのグラスを生み出し続け、レストランや宿泊施設等で数多く採用されている。食のプロから、一般の方まで高い指示を得る湯島の老舗硝子店。



「四角い布 Handwoven textiles from Okinawa」

企画・ディレクション：真喜志 奈美、桶田 千夏子 (Luft)

真喜志 奈美 (まきしなみ)

1966年沖縄県生まれ。武蔵野美術大学工芸工業デザイン科及び同大学院卒。ベルリン国立芸術大学大学院彫刻科、ソウルのデザイン事務所勤務を経て、1999年ソウルにてデザイン事務所設立。2003年に帰国。のち、2005年Luft設立。以後、ヨーガンレール、minä perhonen materiaali (東京、京都)、elävä、Anthracite (ソウル seokyo-dong)などの空間デザインのほか、Water Glass (木村硝子店)、ENVELOPE (日本スウェーデン)、LAUAN SHELVES (D&DEPARTMENT)といった、プロダクトデザインなどを手がけている。

桶田 千夏子 (おけだちかこ)

1977年東京都生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒。法律を学んだ後、料理の道に転身。2010年清澄白河(東京)に山食堂 創立。2012年Luft入所。真喜志と共に家具・空間・プロダクトのデザインに携わる。日々料理をしながら「暮らしに必要な物」を見つめ直し、デザインの仕事に取り組んでいる。Table Soy Sauce (木村硝子店)、器のシリーズ Erdeのほか、Cooking & Serving Spoon (和田助製作所)、Outline (大木製作所)といった、食にまつわるプロダクトデザインなどを手がけている。

Press contact

ご質問、取材や掲載用画像のご希望等がございましたら、プレス担当までお問い合わせください。

竹形 尚子 (デイリープレス)

tel. 03-6416-3201 / 090-1531-6268 naotakegata@dailypress.org



「四角い布」展示販売会の開催に合わせて、書籍を発売いたします。
3名の織り手それぞれのルーツ、発想の源、日々大切に思うことなどが、
沖縄で撮り下ろした美しい写真と共に綴られています。
ぜひご覧いただけますと幸いです。

『四角い布 Handwoven textiles from Okinawa』

¥3,000 + 税

450部 限定

40ページ B5変型

言語：日英

デザイン：サイトヲ ヒデユキ

写真：大沼 ショージ

テキスト：ベン デイビス (The White Paper)、桶田 千夏子 (Luft)

企画協力：竹形 尚子 (daily press)

企画・ディレクション：真喜志 奈美、桶田 千夏子 (Luft)

